



新年度のご挨拶

新しい年度を迎えて、当院にもいくつかの変化がありましたので紹介致します。まず、医師の異動については県から派遣いただいている3名の医師が交代致しました。また、整形外科の常勤医師1名も4月中旬から勤務致します。県派遣の医師の1名は、昨年まで当院で勤務していた整形外科の小川高志医師ですので、整形外科の診療体制が格段に充実致します。救急も含めて幅広い整形外科疾患への対応が可能となりますので、宜しくお願い致します。

また、病棟においては、内科系病棟の12床を地域包括ケア病床に改編致しました。これにより急性期のみならず、回復期・慢性期の医療にも柔軟に対応できる体制となりました。

すでに動き出している地域医療構想も念頭に置きながら、この地域で当院に求められている役割をしっかりと認識し、それに少しでも応えるべく平成28年度も努力して参ります。関係者の皆さまには、引き続き増してのご支援、ご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



下田メディカルセンター 病院長 畑田 淳一

地域包括ケア病床のご案内

皆さま、こんにちは。今回は、平成28年4月1日より3A病棟にオープンした「地域包括ケア病床(12床)」についてご紹介致します。

当院では、平成27年10月に病棟再編プロジェクトチームを発足し、地域包括ケア病床について、院内にて何度も議論を重ね、職員説明会等を経て、今回のオープンに至りました。

地域包括ケア病床は、厚生労働省より平成26年度診療報酬改定にて新たに設けられた病床となります。2025年高齢化社会に向けて、厚生労働省、各都道府県、各二次医療圏が策定する「地域医療構想」の病床区分のうち、「回復期(亜急性期)」に該当する病床となります。

2025年高齢化社会に向けて、医療需用は「キュア」から「ケア」へ移行すると推測されます。それにもかかわらず、現在は全国的に「急性期病床」が過剰にあり、「回復期(亜急性期)病床」が少ないとされています。その為、厚生労働省では病床の必要性から、「回復期(亜急性期)病床」を約26万床(現在は約8万床)にする計画があります。

当院がこの地域包括ケア病床のオープンに至った経緯はこのような全国的な流れの他に、賀茂圏域の高齢化率・医師数、圏域の病床比率、なんと言っても患者さまのニーズが見込まれる為です。賀茂地区の高齢化率は38.7%(平成26年4月1日現在)とすでに国が想定する2025年の比率となっており、そのなかで賀茂圏域はお隣熱海・伊東圏域よりも人口10万人に対する医師数が約2分の1人と少ない状況(平成24年12月31日現在)にあります。また、当院には急性期から在宅までの架け橋として回復期リハビリテーション病棟がありますが、対象疾患が限られていますので非対象疾患の方は、入床できません。

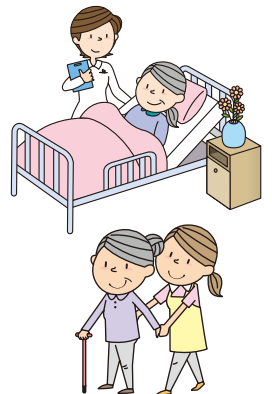
地域包括ケア病床の対象疾患は特に限られていない為、病状に応じ、対応できる病床となっています。回復期リハビリテーション病棟と機能連携分化する事で地域の患者さまの入院ニーズに柔軟に対応できる事、これが一番の導入理由となります。

このような経緯から現在、地域包括ケア病床を3階A病棟(12床)にて稼働しております。入院日数は、当該病床に入床した日から60日が限度となっております。この間に、患者さまが適切な時期に在宅に戻ることができるよう、医師・看護師・看護アシスタント・理学療法士・在宅復帰支援担当者等が力を合わせて患者さまの「キュア」から「ケア」にあたって参ります。また、リハビリテーションが必要な患者さまには、専従の理学療法士がサポートして参ります。

入床経路としては、まず当院急性期病床(93床)から転床する流れとなります。急性期病床入床中に、主治医をはじめとする他職種からなるカンファレンスを実施し、患者さま及びご家族さま等に選択肢の一つとして、提案し、意思を確認して入床となります。

最後に、微力ではございますが、当院の地域包括ケア病床が賀茂地域の地域包括ケアシステムに貢献できるよう努めて参ります。何卒、ご理解・ご協力の程、お願い致します。

医事・医療サービス課 杉本 裕一



在宅医療介護連携推進協議会 最終報告 No.4



平素より地域医療連携におきまして格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成26年から2年に渡り取り組んで参りました当協議会は、拠点整備検討部会・普及啓発検討部会・他職種連携推進部会と3つの部会を設け域包括ケアシステムの構築を図って参りました。その成果として

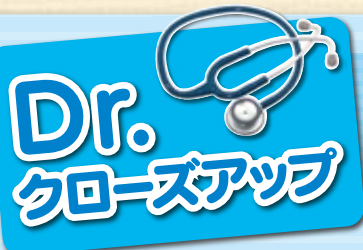
- ①在宅医療連携ネットワークシステムの導入 ②医療福祉ガイドマップの作成
- ③施設間書式の統一 ④多職種の連携強化を目的としたセミナー開催
- ⑤地域住民に対する在宅医療介護の普及啓発のための講演会開催
- ⑥在宅医療介護拠点整備に向けたセンター立上げの検討等 が挙げられます。

⑥に関しましては、今後1市5町による「賀茂地区在宅医療介護連携支援センター」を立上げ、下田メディカルセンターが業務委託を受け運営を行っていく方向で調整中です。

今年度よりこの取り組みが、当病院を事務局とする事業から市町主体の事業へ移行して参りますが、これまでの活動を継承し更に発展を目指して医療・保健・介護・福祉・行政の連携強化を図って参る所存です。

引き続き皆様からのご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

地域医療連携室 木村 健吾



内科 みなと ゆきひと 湊 志仁



私は平成25年2月より下田メディカルセンター内科に勤務しています。
非常勤ですが、月火水と週3日主に消化器疾患を中心に内科を担当して3年間が経過しました。

その間、消化管内視鏡検査では他の内視鏡専門医の先生方3名と共に、上部消化管年平均800件、下部482件施行し、これまで3年間に癌が146件発見され（内早期胃癌14件、早期大腸癌39例）当院外科で手術されたり、あるいは高度専門病院にて内視鏡治療を依頼したりしています。

下部消化管の件数は比較的多いのですが、上部消化管の件数が少ないので今年から住民胃検診がバリウムによる胃透視の他、直接内視鏡が選べるようになると聞き、検査機会の増加に期待しています。

肝臓領域では昨年この下田MCレターでもお知らせしました通り、C型肝炎ウイルスに対する経口治療薬が発売され、目覚ましい効果を上げています。これまでに、地域の先生方から紹介された患者さんも含めて13名（1型8名、2型5名）を治療して来ましたが、ほぼ全例肝炎ウイルスは撲滅され副作用はほとんどありません。

まだまだ肝炎ウイルス保有の方はいらっしゃると思いますが、肝炎が進行しない前に、また厚生労働省の支援がある間に治療できればと思っています。地域の先生方には是非患者さんを紹介いただければと願っています。

東京方面の周りが総てライバル病院という環境とは違って、この賀茂・下田地区は周りの医療機関との病診連携無しではやっていけません。日頃の先生方・コメディカルの皆さんの協力支援に感謝すると共に、その関連の中で少しでも力になればと思いながら勤務する毎日です。

TOPICS

新入職医師紹介



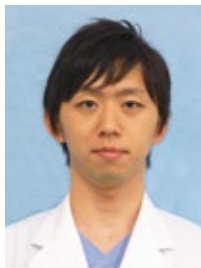
（平成28年4月）

整形外科常勤医師

お がわ たか し
小川 高志

経歴

2009年 自治医科大学卒業
2009年 静岡県立総合病院
2011年 磐田市立総合病院
2013年 下田メディカルセンター
2015年 伊豆今井浜病院



趣味 テニス

自己紹介

以前も2年お世話になりましたが、また県の厚生部からの人事で再赴任する事となりました。整形外科全般で外来、手術、入院対応を行います。特に骨折治療／人工関節手術／手外科疾患手術が得意です。またのびのびと仕事ができればと思います。よろしく願い申し上げます。

内科常勤医師

とみ なが しん ぺい
富永 新平

経歴

2011年 自治医科大学卒業
2011年 静岡県立総合病院
2013年 長野県立木曽病院
2014年 昭和伊南総合病院



趣味 ランニング サイクリング 水泳、ギター

自己紹介

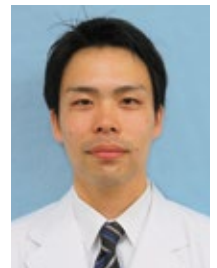
内科常勤医師として赴任しました。初期研修後は循環器内科を中心に、内科全般を研修しました。当直帯では整形外科疾患や小児科疾患も可能な範囲で対応します。プロフェッショナルの意識を持ちながら、明るく楽しい職場にしたいです。

内科常勤医師

こ たけ まさ みつ
小竹 将允

経歴

2014年 自治医科大学卒業
2014年 静岡県立総合病院



趣味 テニス

自己紹介

4月から勤務しております、小竹将允です。初期研修を終えて1年目ですが、皆様の力をかりながら地域に貢献出来るよう頑張ります。将来的には、整形外科専門としていくつもりですが、どの診療科でも対応できるようにしていきます。未熟な部分もたくさんありますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。

退職常勤医

（平成28年3月）

●内科 高津 宏樹
高津 南美子

●整形外科 川合 拓郎

ご紹介・逆紹介、誠にありがとうございました。

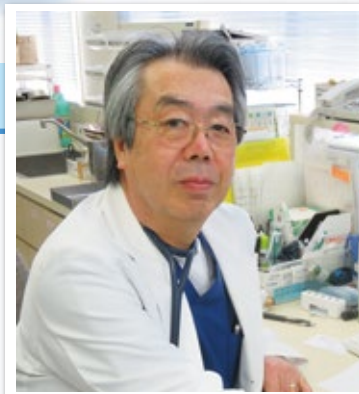
池田医院 院長 池田 正見先生

〒415-3501

賀茂郡西伊豆町宇久須417-2 ☎0558-55-0010

診療科目 外科、内科、胃腸科、小児科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	●	●	●	—	●	●	—	—
14:00~17:30	●	●	●	—	●	—	—	—



百花咲き競うこの頃、いかがお過ごしでしょうか。私は1825年以来続く池田医院の6代目として平成2年より西伊豆町宇久須で診療を始めました。以前は大学病院にて一般消化器外科（特に大腸）および救命救急医として研鑽してまいりました。開業以来外来での一般診療、在宅医療に明け暮れ地域医療を継承しております。診療機器や技法は変化しても志は代々続いていると思います。7代目も現在研鑽中であります。

賀茂地域の医療は多くの問題を抱えます。西海岸、南、東海岸というエリアごとの対策が必要と考えます。現在賀茂医師会長を拝命しておりますがエリアの病院を核に診療所、介護施設、訪問看護、行政などが連携し患者さんを取り囲むシステムの構築が必要と考えます。国は在宅医療を推進しております。病院から在宅へと謳っておりますが地域格差があり国の描いた通りにはなりません。賀茂地域はエリアにあった医療環境を各職種連携のもと構築していく必要があります。災害医療も救急医療もしかりです。

下田メディカルセンターは下田・南伊豆エリアの核として地域医療を支え、賀茂地域の医療を発展させてくれる基幹病院として大いに期待しております。今後とも宜しくお願い致します。

編集後記

日頃より、皆様のご支援、ご協力、感謝致します。今回より、新しく「地域の医療機関ご紹介」コーナーの掲載を開始しました。毎号皆様に最新情報等を掲載できる様に心がけていますが、ご期待に添える記事になっているのか少々不安な面もあります。

わたくし事です。地域医療連携室広報に携わり、2年目になります。今年度は昨年度よりもさらに、皆様へ最新かつ有益な情報発信が出来る様に心がけ努力して参ります。まだまだ、未熟でご迷惑おかけすることがあると思いますが今後ともよろしくお願い致します。（土屋）

発行

下田メディカルセンター

〒415-0026 静岡県下田市6丁目4-10

TEL.0558-25-2525 FAX.0558-25-5050

<http://www.s-m-a.or.jp/shimoda/>

発行責任者 地域医療連携室長 小野寺 晃



伊豆急下田駅から徒歩10分圏。路線バスのバス停も目の前にあり、電車やバスでスムーズに来院いただけます。また、敷地内に300台収容の駐車場を用意しております。



SHIZUOKA MEDICAL ALLIANCE

医療法人社団 静岡メディカルアライアンス 運営施設

みなとクリニック(外来)

〒415-0152 静岡県賀茂郡南伊豆町湊674
TEL.0558-62-0005

しらはまクリニック(外来)

〒415-0012 静岡県下田市白浜1528-2
TEL.0558-27-3700

なぎさ園(介護老人保健施設)

〒415-0152 静岡県賀茂郡南伊豆町湊674
TEL.0558-62-6800

海老名ケアサポートセンター

(今里クリニック・介護住宅事業所・サービス付高齢者向け住宅)
〒243-0423
神奈川県海老名市今里一丁目10番12号
TEL.046-232-0606